

## 学校経営推進費 評価報告書（最終）

### 1. 事業計画の概要

学校名	大阪府立堺工科高等学校 定時制の課程
取り組む課題	生徒の希望する進路の実現
評価指標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 生徒の自己有用感、挨拶、マナー、コミュニケーション能力、職業観等の向上（学校教育自己診断）</li> <li>・ ボランティア活動に対する意識の向上</li> <li>・ 中途退学率の減少、不登校生徒の減少、進級卒業率の向上</li> </ul>
計画名	職業体験による「啓発プロジェクト」

### 2. 事業目標及び本年度の取組み

学校経営計画の 中期的目標	<p>2 生徒理解の促進と自己有用感を高める取組みの強化</p> <p>(2) 特別活動、生徒会活動、部活動等を通じて、生徒の自己有用感を醸成するとともに集団や学校への帰属意識を高める。</p> <p>ア 生徒会行事、生徒の自主活動、ボランティア活動や地域連携活動の継続、発展をめざす。</p> <p>※ 地域・企業等と連携した職業体験「ゆめ・チャレ」等の就労体験活動のさらなる発展充実、参画企業と動員生徒を毎年5%拡張</p>
事業目標	<p>本校生徒に自信を持たせ、コミュニケーション能力を身につけさせる。また、基本的な生活習慣を身につけさせ、進級・卒業率を上げることや、中途退学率を減らす必要がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 伝統地場産業を学び、「ものづくり」を通じて地域に誇りを持ち、自分にも誇りを持つ。</li> <li>・ 地場産業を通して学校外で様々な職業体験をし、基本的な生活習慣を身につけ、コミュニケーション能力等をつける。</li> <li>・ 単なるインターンシップではなく、職業体験を通じて地域企業と生徒が、啓発活動に用いる様々な「啓発グッズ」を製作し、成果物を配布して「あいさつ運動」や「特殊詐欺防止」、「G20 大阪サミット交通総量抑制」、「AED 使用ついて」、「献血」等の啓発活動をおこなう。</li> <li>・ ボランティア活動に積極的に参加し、他者から感謝されることにより自己有用感を持つ。</li> <li>・ 全国の定時制高校のモデル校を目指し、定時制高校の存在意義をこれまで以上に高める。</li> </ul>
整備した 設備・物品	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 啓発活動配布用外装パッケージ式</li> <li>・ 啓発活動配布用「線香」</li> <li>・ 啓発活動配布用「蜻蛉玉」</li> <li>・ 啓発活動配布用「ネックレス・香立て」</li> <li>・ 啓発活動配布用「注染てぬぐい・和雑貨」</li> <li>・ 啓発活動配布用「サシェ（匂い袋）」</li> <li>・ 啓発活動配布用「木彫り品」</li> </ul>
取組みの 主担・実施者	<p>プロジェクトリーダー：首席（進路指導主事兼任・学校設定教科「堺学」主担）</p> <p>啓発プロジェクト企画・運営：企画委員及び学校設定教科「堺学」担当教員</p> <p>職業体験及び地域（自治会・小中学校等）との連携推進：進路指導部</p> <p>生徒に対する諸活動：生徒会活動部</p> <p>啓発グッズ作成：機械系・電気系職員を中心とした全教職員</p>

<p><b>本年度の 取組内容</b></p>	<p>従来に加え、地域連携職業体験数と参加生徒数を増やし、啓発活動用「配布グッズ」の種類と数を充実させる。警察署・消防署（AED）・各官公庁に積極的に働きかけ、様々な啓発活動をおこない、活動内容も充実させ、「啓発プロジェクト」を完成させる。</p> <p>また、「定時制」ならではの朝から夕方までの時間帯を活用した職業体験を行い、地域とともに様々な「啓発活動」に対応出来る体制を作る。プロジェクト参加生徒の増加により配布グッズの増加が見込まれ、生徒の自己有用感も高まり、結果として中途退学率の減少、不登校生徒の減少、進級卒業率の向上につなげて、生徒の希望する進路を実現させる。</p>
<p><b>成果の検証方法 と評価指標</b></p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 「学校へ行くのが楽しい」「この学校には他の学校にない特色がある」「地場産業について学び、体験する機会が多い」（学校教育診断）70%以上</li> <li>2 退学率9%台の維持、1年生の進級率（70%以上）、学校全体の進級卒業率（80%以上）</li> <li>3 全プロジェクトへの参加生徒50%、「啓発プロジェクト」プログラムの完成</li> </ol>
<p><b>自己評価</b></p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 「学校へ行くのが楽しい」68%、「この学校には他の学校にない特色がある」75%、「地場産業について学び、体験する機会が多い」67%で、肯定率の平均が70%であった。目標の70%以上を達成した。……………（△）</li> <li>2 退学率9%台の維持、1年生の進級率（70%以上）、学校全体の進級卒業率（80%以上）を目標としたが、退学率5.1%、1年生の進級率81.8%、学校全体の進級卒業率88.6%と大幅に上回った。……………（◎）</li> <li>3 全プロジェクトへの参加生徒50%を達成した。……………（◎）</li> </ol>
<p><b>事業のまとめ</b></p>	<p>地域連携職業体験数と参加生徒数を増やし、啓発活動用「配布グッズ」の種類と数を充実させることが出来た。</p> <p>医療従事者・日本赤十字社（献血）・警察署・消防署（AED）・各官公庁に積極的に働きかけ、様々な啓発活動をおこない、活動内容も充実させ、「啓発プロジェクト」を完成させることができた。</p> <p>また、「定時制の課程」の特徴を活かして朝から夕方までの時間帯を活用して職業体験を行い、地域とともに様々な「啓発活動」に対応する体制を作り、プロジェクト参加生徒の増加につなげることができた。その結果、配布グッズが増加し、生徒の自己有用感の向上や中途退学率や不登校生徒の減少、進級卒業率の向上といった成果があらわれ、生徒の希望する進路を実現させることができた。</p>

### 3. 事業費報告

今年度事業費総額	<b>240,000</b>	円
----------	----------------	---

#### 積算内訳

\* 決算科目（節）を明示し、節毎に積算内訳を記載すること。

科目（節）	番号	内訳	単価	数量	金額	
					円	円
1 報償費	1	「線香」啓発グッズ製作講師謝金	¥5,000	18	¥90,000	
	2	「蜻蛉玉」啓発グッズ製作講師謝金	¥5,000	26	¥130,000	
	3	「注染」啓発グッズ製作講師謝金	¥5,000	4	¥20,000	
				小計	240000	
2 旅費	1					
	2					
	3					
				小計	0	
3 消耗需用費	1					
	2					
	3					
				小計	0	
4 維持需用費	1					
	2					
	3					
				小計	0	
5 役務費	1					
	2					
	3					
				小計	0	
6 委託料	1					
	2					
	3					
				小計	0	
7 使用料 及び賃借料	1					
	2					
	3					
				小計	0	
8 備品購入費	1					
	2					
	3					
				小計	0	
9 工事請負費	1					
	2					
	3					
				小計	0	
10 負担金・補助 及び交付金	1					
	2					
	3					
				小計	0	
				合計	¥240,000	